

保健指導の階層化の結果

	3町計	健保組合	計
実施者数	3, 233	251	3, 484
情報提供	1, 373	139	1, 512
(割合:%)	42. 5	55. 4	43. 4
動機付け支援	1, 068	76	1, 144
(割合:%)	33. 0	30. 3	32. 8
積極的支援	792	36	828
(割合:%)	24. 5	14. 3	23. 8

注) 「第3回保険者による健診・保健指導の円滑な実施方策に関する検討会」の
⑦特定保健指導の実施者の供給見通しによる試算では、健診受診者数の17.8%
が動機付け支援、16.5%が積極的支援の対象者になると仮定している。 7

事前準備から階層化までの 問題点

健診から階層化までの問題点

1. 周知

- モデル事業を実施することや、平成20年度からの体制(保健指導の充実)に関して、住民への周知が行き届かなかったことから、住民の理解を得ることが難しく、対応が難しかった。
- 「健診は休めても結果説明会は休めない」
- 「去年は郵送してもらえたのに、何でわざわざとりに行かなければならないのか」という声が窓口によく寄せられ、結果的に動機付けを個別面接で実施する予定が郵送通知となった。

9

健診から階層化までの問題点

2. 質問票

1. 基本健診の問診、メタボリックシンドロームの問診、生活機能評価の問診が重複したため受診者の混乱を招いた
2. 質問項目に回答しにくい質問がある
 - 「同世代の同性と比較して歩く速度が速い」
 - ・比較したことがないのでわかりづらい
 - ・同世代の年齢幅はどの位か
 - ・速度が速いとは、どの程度の速さか

10

健診から階層化までの問題点

3. 腹囲測定

1. 測定手技の統一が図りにくい

国立健康・栄養研究所、国民健康栄養調査プロジェクト、健康栄養調査に有用なツール集、「国民栄養調査身体状況調査手技のトレーニング(腹囲測定編)」

- ・ 飲食後2時間経過後
 - ・ へその高さで
 - ・ 息をはいた終わりに
 - ・ へその位置が下に移動しているときは肋骨の下縁と前上腸骨棘の midpoint の高さで測定
- 研修が重要

2. 測定を拒否する者がいる

- ・ インフォームドコンセント
- ・ 診察場面
- ・ ブース確保

11

